

Title of Invention:

CONNECTION MECHANISM BETWEEN SHAFT AND WHEEL FOR
RADIO CONTROL CAR

Summary:

A joint portion 6 is formed at a shaft portion 11 of a gear 5 and connects with a wheel 7. A pin groove 15 is formed on the joint portion 6.

A joint portion 8 is formed at the wheel 7 and connects with the gear 5. The joint portion 8 has pin receiving concave portions 16, 16'. A pin hole is formed on an appropriate portion of the shaft 9. A pin 14 is inserted into the pin hole of the shaft 9, the pin groove 15 and the pin receiving concave portions 16, 16', respectively.

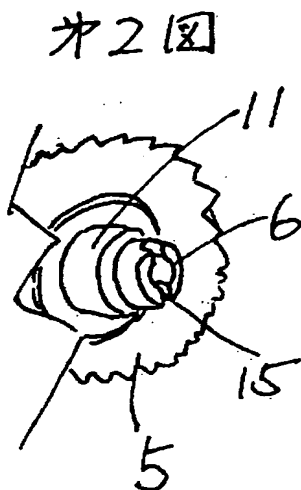


Fig. 2

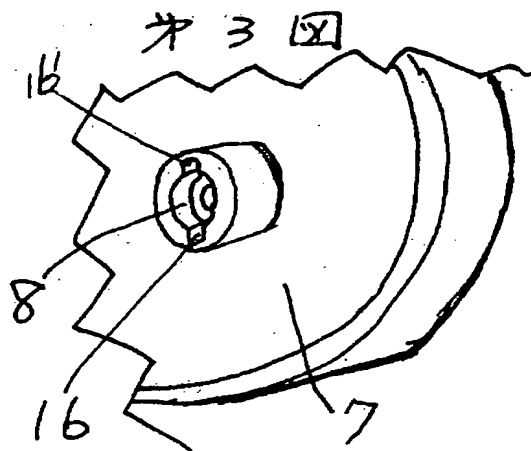


Fig. 3

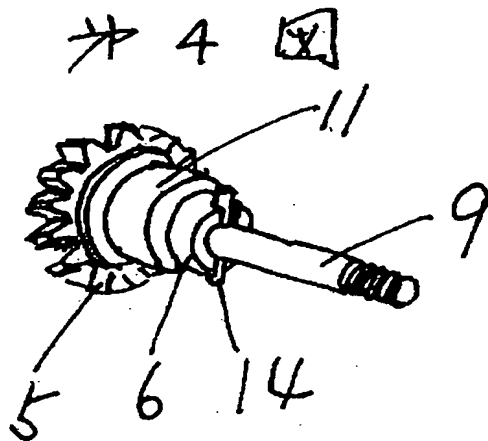


Fig. 4



実用新案登録願

昭和 54 年 9 月 22 日

特許庁長官 殿

適

1. 考案の名称

ラジコン自動車^{ジドウシャ}の駆動軸^{クドウジク}とホイール^{ホイール}の取付機構^{トリツケキコウ}

2. 考案者

今治市喜田村 4 7 1 番地の 4
近 藤 達 朗

3. 出願人

今治市喜田村 4 7 1 番地の 4

コンド株式会社

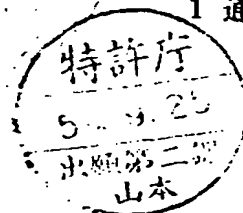
代表者 近 藤 達 朗



4. 添附書類

- (1) 明細書 1 通
- (2) 図 1 通
- (3) 願書 副本 1 通

54 131562



方式
審査



明 細 書

1. 考案の名称

ラジコン自動車の駆動軸とホイールの取付機構

2. 実用新案登録請求の範囲

ギヤー(5)の軸部(11)のホイール(7)とのジョイント部(6)にピン溝(15)を設けホイール(7)のギヤー(5)とのジョイント部(8)にピン受凹部(10)(10')を有するようにしシャフト(9)の適当な位置にピン孔を設けてピン(14)をシャフト(9)のピン孔、ピン溝(15)及びピン受凹部(10)(10')に作用するよう挿入するようにしたラジコン自動車の駆動軸とホイールの取付機構の構造。

3. 考案の詳細な説明

ラジコン模型自動車に於いてホイールを駆動する駆動軸とホイールの取付機構に関する考案である。本案はギヤケース(2)にとりつけたモーター(1)のピニオンギヤ(4)によって回転する軸部(11)ホイールとのジョイント部(6)を有するギヤー(5)によって駆動するホイール(7)によって駆動する機構(実

—2—

願 5 4 — 0 0 9 6 9 0 参照) を n 箇組合せるようにしたラジコン模型自動車に於ける駆動軸とホイールのジョイントをピン(14)によって行うようしたものである。

構造について説明する。軸部(11)を有する^平ギヤー(5) (18改正) (5)のホイールジョイント部(6)にピン(14)がシャフト(9)を貫通するようにピン溝(15) (ピン孔でもよい)をあけたものをシャフト(9)に第1図第4図の如く挿入しシャフト(9)のストッパ(10)にギヤー(5)が接した状態でピン溝(15)にピン(14)が挿入出来るようシャフト(9)にピン孔をあらかじめあけておく。ケース(2)の蓋(3)の軸受(12)にギヤー(5)の軸部(11)を挿入しピン(14)を挿入する。ピン(14)はギヤー(5)のホイールジョイント部の円筒の直径よりも長かくしホイール(7)のギヤー(5)とのジョイント部(8)のピン受凹部(16)(16)に挿入することが出来る長さとする。ギヤケース(2)の軸受(17)にシャフト(9)の一端を挿入してケース(2)の蓋(3)をケース(2)に固定しホイール(7)のギ

ヤー(5)とのジョイント部(8)のピン受凹部(16)(16')にピン(14)が入るようホイール(7)をシャフト(9)に挿入しナット(13)によってジョイント部(6)と(8)を圧入するようにしたものである。その作用効果について説明する。モーター(1)の動力はピニオンギヤ(4)によって^平ギヤ(5)を回転し^平ギヤ(5)のピン溝(15) ^{2字改正}及びホイール(7)のピン受凹部(16)(16')に挿入されたピン(14)によってホイールに伝達される。又ピン(14)によってギヤ(5)及びホイール(7)がシャフト(9)にロックされるのでホイールを持ってナット(13)をはずせばホイール(7)をはずすことが出来る。

上述の如く本案は^平ギヤ(5)の軸部(11)のホイール ^{1字改正}(7)とのジョイント部(6)にピン溝(15)を設けホイール(7)のギヤ(5)とのジョイント部(8)にピン受け凹部(16)(16')を有するようにしシャフト(9)の適当な位置にピン孔を設けて第1図、第4図の如くピン(14)を挿入することによりピン(14)1本で^平ギヤ(5)とホイール(7)のジョイント及びロックとシャフト(9)との

ロックをする効果を有するものである。

4. 図面の簡単な説明

第1図は断面図、第2図第3図は一部を欠除した見取図、第4図は見取図である。



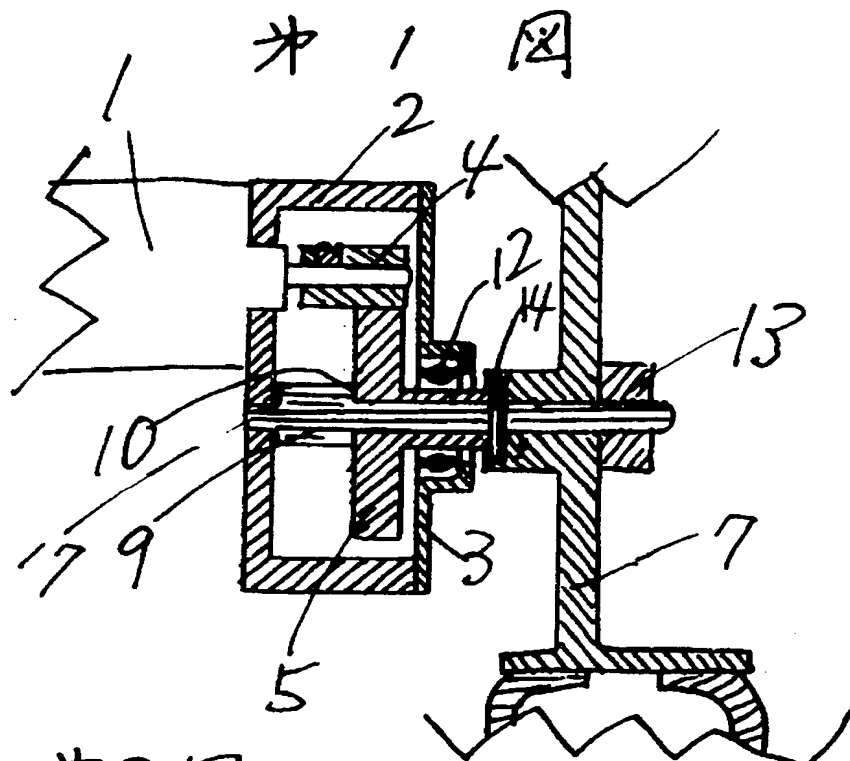


Figure 2

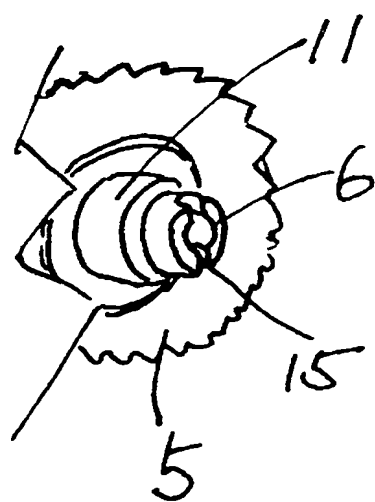
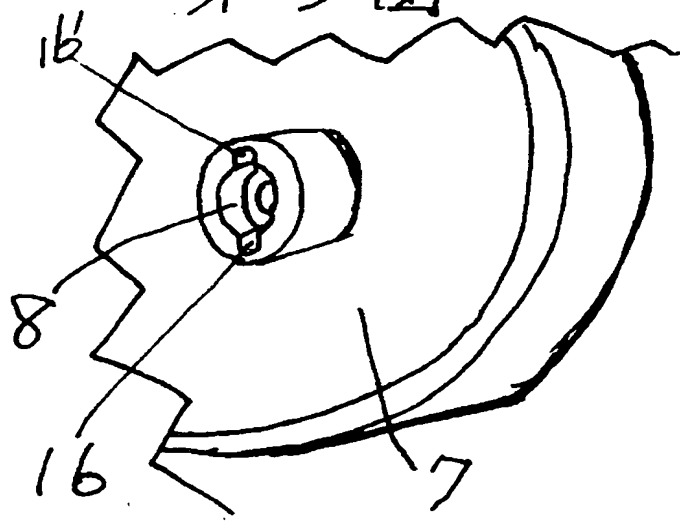
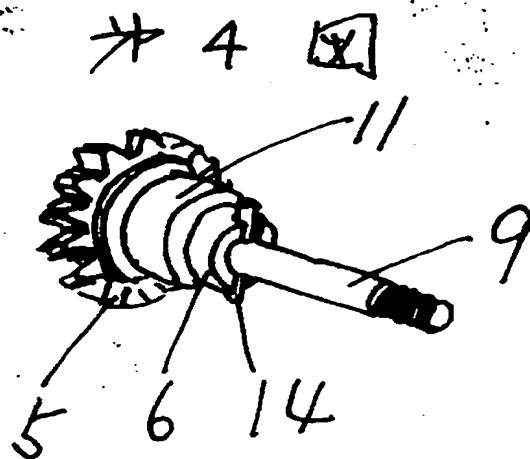


Figure 3



50425 1/2



50495 3/2